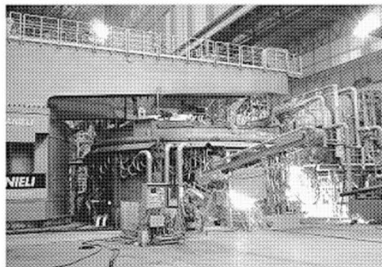


鉄の建築材、3社でリサイクル

大和ハウス子会社の大和リースと東京製鉄と鉄スクラップ専門商社のナベショー（大阪市）の3社は、鉄の建築材をリサイクルする協定を締結したと発表した。リサイクルには電炉を使うため、高炉を使う製鋼過程よりも二酸化炭素（CO₂）排出量を約75%削減できるという。

3社はリース用建築で使われた外壁の金属部分をリサイクルする。断熱材を鉄板で挟んだ構造になっていて、大和リースは従来処分していた。東京製鉄は電炉で鉄板を溶かし、製造した鋼材を大和リースに売る。ナベショーはリサイクルのスキームを作成し、物流や



リサイクルには電炉を
活用し、CO₂排出量
を約75%削減する

加工処理の流れを管理する。

今後リサイクルの対象になる拠点数や扱う品目を増やし、23年4月までにリサイクル率を96%に引き上げることを目標にしている。

（岡本康輝）